



<クラブ評価>

No	項目	内容
1	育成支援	自主性、社会性、創造性を養うことを目的とし、発達段階に応じた遊びや行事の企画を行う。縦割りのグループを作り、3年生以上のリーダー性を育成している。
2	配慮を要する子どもへの対応	専任支援員を配置し、家庭・学校・関係機関との連絡を密にして、個々の適正に応じた支援を行う。ほっとルームを設置し、安心して、落ち着いて過ごせる環境作りに努める。
3	運営体制	法令遵守し、適正に運営するよう努めている。
4	学校及び地域・保護者との連携	学校や関係機関とは定期的に連絡調整を行い、保護者とは連絡帳・おたより・ホームページを活用しクラブ内での子どもの様子を伝えている。学校の先生や、地域の方々、保護者参加型の行事も行っている。
5	施設及び設備・衛生管理及び安全対策	毎日の掃除、月1回の安全点検を実施し衛生管理及び環境の整備をしている。
	訓練実施回数	12回
6	質の向上	毎日の打合せで情報交換を行い、細やかな保育を心がけている。また、月1回の勉強会を行ったり、積極的に研修に参加するように努めている。
	1人当り研修参加回数	4. 1回
7	青少年の健全育成に向けた取り組み	表現力を高めるために遊びの中に子ども川柳を導入。毎日読み聞かせを行い、語彙力や想像力、集中力を養う。
	フローラルこまつ推進団体	○
	ボランティア活動実施回数	1回